

現場説明書（令和8年4月1日以降適用）

工事名：R8企総管 吉野川北岸工業用水道 泥土池ポンプ制御盤取替工事

法令及び規格

1 諸法令の遵守

受注者は、本工事の施工に当たり、次に掲げる関係法令及び工事に関する諸法令を遵守するものとし、その運営及び適用は、受注者の負担と責任において行うものとする。

- (1) 電気設備技術基準
- (2) その他関係法令等

2 適用規格

本工事における設計及び製作並びに材料等の品質規格は、設計書に定めるもののほか、次に掲げる規格に適合したものとする。ただし、監督員が特に認めた場合はこの限りではない。

- (1) 日本産業規格（JIS）
- (2) 電気学会電気規格調査会標準規格（JEC）
- (3) 日本電機工業会規格（JEM）
- (4) 日本電線工業会規格（JCS）
- (5) その他関係規格、基準等

書類関係

1 図書の承諾

受注者は、次に掲げる図書を指定期日までに提出し、機器の設計・製作及び検査を実施する前に監督員の承諾を得なければならない。

- | | | |
|-----------------------------|-------------|------|
| (1) 図面類（外形図、組立図、展開接続図、施工図等） | 設計完了後速やかに | 2部 |
| (2) 納入機器及び材料の仕様 | 設計完了後速やかに | 2部 |
| (3) 立会検査要領書 | 検査予定30日前までに | 2部 |
| (4) その他監督員が指示する図書 | | 必要部数 |

2 提出書類

受注者は、「徳島県電子納品運用ガイドライン【土木工事編】」に基づいて作成した成果品（正・副各1部）を提出する。また、次に掲げる図書については電子データによる納品を基本とするほか、紙媒体により指定期日までに指定部数を提出しなければならない。

- | | | |
|------------------------------|----------------|----|
| (1) 工事打合せ議事録（電子メール等を活用しない場合） | 打合せ後7日以内 | 2部 |
| (2) 検査及び試験記録（速報） | 実施後7日以内 | 2部 |
| (3) 工事写真 | 工事しゅん工検査請求日までに | 2部 |
| (4) 完成図書 | 工事しゅん工検査請求日までに | 4部 |
| ア 完成図面（外形図、組立図、展開接続図、施工図等） | | |
| イ 検査及び試験記録 | | |
| ウ 取扱説明書 | | |

なお、完成図書のスタイルは、監督員の指示による。

- | | |
|-------------------|------|
| (5) その他監督員が指示する図書 | 必要部数 |
|-------------------|------|

設計及び製作

1 一般事項

- (1) 機器は、使用条件を満足し、かつ既設備と十分に協調のとれたものとするとともに、保守が容易で、長期にわたり安定動作する信頼性の高いものとする。

現場説明書（令和8年4月1日以降適用）

工事名：R8企総管 吉野川北岸工業用水道 泥土池ポンプ制御盤取替工事

- (2) 機器は、交換周期の長い部品を使用する等、ランニングコストを抑えたつくりとする。
- (3) 機器は、耐震性を考慮したものとし、常時発生する騒音は極力抑えたつくりとする。
- (4) 機器は、工場にて検査等を実施し、合格したものとする。
なお、検査及び試験結果を監督員に提出し、承諾後に輸送するものとする。
- (5) 機器には、品名、型式、製造年月等を表示する銘板を取り付けること。
- (6) 使用材料及び部品については、前述の「法令及び規格2項」に規定する規格に適合するものとし、また各機器は地球環境を考慮し、できる限り将来リサイクル可能な材料を選定するとともに設計においては十分配慮すること。
なお、可能な限り徳島県グリーン調達等推進方針に準じるものとする。
- (7) 配線、電材及び据付時必要な付属品、メンテナンスツール等は、別途明示するもののほかは機器に含むものとする。
- (8) 機器の付属品は本仕様書に記載されているもののほか、運転上及び保守上に必要なものを付属すること。予備品は次のものを納入すること。

リレー（ソケット含む）	各種実装数の 100%以上（各1個以上）
ヒューズ類	各種実装数の100%以上
表示灯	各種実装数の 100%以上（各1個以上）
予備品等収容箱	1式
- (9) 本説明書に記載なき事項についても、機器の機能上具備すべきものについては、当然これを充足するものとする。

2 機器の仕様

機器は、次の仕様を満足するものとする。

- (1) 製作機器
 - ア 泥土池ポンプ制御盤 1面
- (2) 共通事項
 - ア 新設する制御盤は既設制御盤と同一箇所に設置するため、寸法は既設制御盤同等とする。ただし、機器搬出入時に使用する天井点検口寸法（750×750mm）等を考慮すること。
 - イ 制御方式は、リレーシーケンスによるものとする。
 - ウ 名称銘板、また、操作を行いやすくするための用途銘板を取り付けること。名称銘板、用途銘板は、アクリル製とし、名称銘板はナイロンリベット止め、用途銘板は貼付を原則とする。
 - エ ケーブルの引込は、盤下方のケーブルピットとする。外部機器との接続は、盤下部の端子台で接続することを原則とする。
 - オ 外部ケーブルの引込穴、引出穴には塞ぎ板を取り付けること。塞ぎ板は難燃性のものとし十分な強度を持ち、かつケーブルに損傷を与えないものとする。
 - カ 盤内は、充電部が露出しない構造とし、露出した充電部はカバーを取り付ける等の安全対策を施すものとする。また、盤内配線においては、制御用ケーブルと電源ケーブルの経路が近接しないように留意すること。
 - キ ケーブルサポートを必要に応じて設けること。
 - ク 配線の端子接続部分には配線記号を付すか、配線符号を付したマークバンド又はマークチューブを取り付けること。
 - ケ 盤内照明を取り付け、ドアスイッチで入切させること。
 - コ 盤面取付機器の配置については、視認性を考慮すること。また、操作の種類、順序、操作方法等が容易な配列構造とし、誤操作を防止する措置を講じること。

現場説明書 (令和8年4月1日以降適用)

工事名：R8企総管 吉野川北岸工業用水道 泥土池ポンプ制御盤取替工事

- サ 扉は施錠でき、かつ、開時に固定できる構造とする。鍵の型番については、別途指示する。
- シ 電圧の異なるものは、配列を分ける等、極力隣接しないよう配置すること。
- ス 補助回路に用いる電線は、JIS C 3307-2000 または JIS C 3316-2008 に規定された電線を使用し、電線の断面積は、原則として1.25mm² とする。ただし、計器用変成器の二次回路に用いる電線の断面積は原則として2mm² の電線を使用する。
- また、電流容量・電圧降下などに支障がなく、保護協調が取れる場合は、これより細い電線を使用しても良い。
- セ 各機器は、一部の故障が全体に波及しない構成とすること。

(3) 機器の仕様

製作機器の仕様は、原則別紙の新設機器仕様一覧及び設計図面の仕様を満足するものとする。

3 既設機器の仕様

既設機器の仕様は、次のとおりである。

(1) 泥土池設備概要

- ア 用途・目的 当該設備は沈殿池より発生した泥土を泥土処理設備に移送するために必要な設備である。当該設備は泥土池ポンプ制御盤、泥土ポンプ2台、電動弁2台、水位検出器1台、ストレーナ、泥土池で構成されている。

(2) 泥土池ポンプ制御盤

- ア 仕様 別紙既設機器仕様一覧による
- イ 製造者 山菱電機株式会社

(3) 泥土ポンプ

- ア 形式 GPN3-80
- イ 口径 80A
- ウ 揚水量 1.1m³/min
- エ 揚程 12m
- オ 電源 AC220V
- カ 容量 5.5kW
- キ 製造者 株式会社 鶴見製作所
- ク 製造年 2023年(No. 1)、2026年(No. 2)

(4) 電動弁

- ア 形式 MAS4533NR
- イ 流体仕様 汚泥 2.0kg/cm²
- ウ 電源 AC220V(動力)、AC220V(制御)
- エ 定格 0.2kW
- オ 製造者 日本ダイヤバルブ株式会社
- カ 製造年 1995年

(5) 水位検出器

- ア 形式 LE212-4
- イ 出力信号 4-20mA DC
- ウ 電源 24~30VDC(アレスタ内蔵)
- エ 測定範囲 0~6m(実目盛付)
- オ 製造者 愛知時計電機株式会社

現場説明書（令和8年4月1日以降適用）

工事名：R8企総管 吉野川北岸工業用水道 泥土池ポンプ制御盤取替工事

カ 製造年	2013年
(6) ストレーナ	
ア 形式	バスケット型（2連構成）
イ 口径	400A
ウ 接続管径	150mm
エ 製造者	有限会社第一鐵工
(7) 泥土池	
ア 形式	円形密閉式
イ 寸法	11000（内径）×6500（深さ）mm

現場工事

1 一般事項

- (1) 受注者は、本工事の現場作業の着手に際し、あらかじめ作業手順及び施工要領等について監督員と協議を行わなければならない。
- (2) 受注者は、現場工事の施工に際し、十分な経験を有する技術員が適用規程等を遵守の上で施工し、工事対象外設備の運用に支障を及ぼすことのないよう留意しなければならない。
- (3) 受注者は、作業の安全性確保のため、表示板、安全区画等の対策を講じなければならない。
- (4) 受注者は、既設建造物及び諸設備に損傷を与えないように留意しなければならない。万一損傷を与えた場合は、監督員の指示に従い受注者の責任において、原形復旧を行わなければならない。
- (5) 受注者は、工事終了後速やかに工事現場の整理、整頓を行わなければならない。
- (6) 現場工事に必要な測定及び調査は、全て受注者の責任において行い、その不良による手戻りが生じた場合は、受注者の負担により解決しなければならない。
- (7) 発注者の設備機器の運転、停止及び開閉操作等は監督員が行うものとする。ただし、監督員の許可を得た場合はこの限りでない。

2 現場工事詳細

現場工事の詳細は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 泥土池ポンプ制御盤の取替
 - ア 新製盤の設置場所は原則既設機器と同位置とすること。
 - イ 制御盤が設置されているコンクリート基礎についてはアスベスト定性分析を実施すること。
 - ウ 制御盤の搬出入は原則として天井点検口寸法（750×750mm）とし、必要に応じて養生等を行い、機器及び建屋に損傷を与えないよう留意すること。
 - エ 制御盤の取替は泥土処理設備非稼働中に行うものとし、その期間については発注者が別途指示する（令和9年2月以降を予定）。
- (2) ケーブルの取替
 - ア 新設ケーブルは原則既設と同様の経路に敷設するものとする。新設ケーブルは以下とする。
 - (ア) 泥土池制御盤主電源ケーブル
用途：制御盤主電源
経路：屋内低圧配電盤（LB-3）－泥土池電源盤－動力分電盤－泥土池ポンプ制御盤
ただし、泥土池電源盤は配線経路の都合上、経由のみを目的としているため、泥土池電源盤での端末処理及び結線は不要とする。
 - (イ) No. 1 泥土ポンプ動力ケーブル

現場説明書（令和8年4月1日以降適用）

工事名：R8企総管 吉野川北岸工業用水道 泥土池ポンプ制御盤取替工事

用途：N○. 1 泥土ポンプ動力

経路：泥土池ポンプ制御盤 - 動力分電盤 - プルボックス1（PB-1）

プルボックス1内にてN○. 1 泥土ポンプ側ケーブルと直線接続すること。直線接続は端子同士を接続するものとし、接続箇所はテーピング処置等の絶縁処置を行うこと。

(ウ) N○. 2 泥土ポンプ動力ケーブル

用途：N○. 2 泥土ポンプ動力

経路：泥土池ポンプ制御盤 - 動力分電盤 - プルボックス2（PB-2）

プルボックス2内にてN○. 2 泥土ポンプ側ケーブルと直線接続すること。直線接続は端子同士を接続するものとし、接続箇所はテーピング処置等の絶縁処置を行うこと。

(エ) 泥土ポンプ運転用制御ケーブル

用途：泥土ポンプの運転及び停止信号

経路：中継端子盤（TB-1）- 泥土池ポンプ制御盤

(オ) 泥土池状態監視用制御ケーブル

用途：泥土ポンプ及び電動弁の状態信号

経路：中継端子盤（TB-1）- 泥土池ポンプ制御盤

イ 上記新設ケーブルを除くケーブルは既設再利用とする。

(3) 各種現地試験の実施

ア 現地試験は後述する現場立会検査及び試験の内容を基本とするが、本説明書に記載なき事項についても、設備の特性上試験すべき事項については、当然これを充足するものとする。

検査及び試験

1 工場立会検査及び試験

次に掲げる機器については、原則として、工場立会検査及び試験を実施するものとし、装置の製作状況及びその機能等については了承を得た後に現場へ搬出するものとする。

(1) 対象機器

ア 泥土池ポンプ制御盤

(2) 検査及び試験内容

ア 員数検査（付属品・予備品含む）

イ 機器単体試験（外観構造試験・配線検査）

ウ 機能試験（シーケンス動作試験、計装関係特性試験、保護回路連動試験）

エ 絶縁抵抗測定

オ その他監督員の指示する項目

2 現場立会検査及び試験

現場立会検査及び試験は、次に掲げる項目について行うものとする。

なお、その結果不合格と判断されたものについては、速やかに改善又は補充し、再検査等を受けなければならない。

(1) 検査及び試験内容

ア 員数検査

イ 外観構造試験

現場説明書 (令和8年4月1日以降適用)

工事名：R8企総管 吉野川北岸工業用水道 泥土池ポンプ制御盤取替工事

- ウ 絶縁抵抗測定
- エ シーケンス試験
- オ 計装関係特性試験（入出力確認）
- カ 保護回路連動試験（状態・故障表示確認）
- キ その他監督員の指示する項目

現場説明書(令和7年10月1日以降適用)

工事名: R8企総管 吉野川北岸工業用水道 泥土池ポンプ制御盤取替工事

工 程

1 他工事等との調整 (対象 有)

- 1 本工事期間内に別途「吉野川北岸工業用水道 泥土処理業務」を発注予定である。そのため、本工事における制御盤の取替作業は、特別な事情がない限り、令和9年2月以降(予定)に行わなければならない。

2 施工の制限(対象 有)

本工事の新規ケーブル敷設を除く(泥土ポンプ制御盤及びケーブル取替等)現場施工、現地調整にあたっては、監督員の指示(予定:令和9年2月)があるまで施工してはならない。この予定の変更に伴い工期変更の必要が生じる場合には、監督員と協議することができる。

3 作業時間帯(対象 無)

4 工事履行報告書(対象 無)

5 その他(対象 無)

用 地 関 係

1 ブロック製作ヤード(対象 無)

2 仮置ブロック(対象 無)

支 障 物 件

受注者は、工事着手前に必ず工事施工箇所の支障物件について確認し、監督員に「支障物件確認書(現場着手時)」を提出し、監督員の確認を受けた後、工事に着手すること。

1 支障物件の事前調査(対象 無)

2 支障物件の撤去(対象 無)

3 立木の置き場所(対象 無)

4 その他(対象 無)

公 害 対 策

1 事業損失防止対策(対象 無)

2 濁水処理(対象 無)

3 低騒音型・低振動型建設機械(対象 無)

4 六価クロム溶出試験(対象 無)

安 全 対 策

1 交通安全施設等(対象 無)

2 交通誘導警備員(対象 無)

3 足場通路等からの墜落防止措置(対象 無)

4 建設用防護管(対象 無)

現場説明書(令和7年10月1日以降適用)

工事名: R8企総管 吉野川北岸工業用水道 泥土池ポンプ制御盤取替工事

建設副産物

1 建設発生土の利用(対象 無)

2 建設発生土の搬出(対象 無)

3 再生利用のための建設副産物の搬出(対象 有)

1 受注者は、本工事の施工により発生する次の建設副産物について、再資源化を行うため産業廃棄物中間処理許可施設(再資源化施設)へ搬出すること。また、搬出に際しては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守しなければならない。

2 受注者は、建設副産物の搬出前に受入場所・条件等について、監督員と協議するものとする。

3 自己処理を希望する場合は、監督員と協議するものとする。

4 受入先との協議の結果、再資源化が困難である場合は、監督員と協議するものとする。

	コンクリート塊	アスファルト塊	木材	スクラップ (有価物)	廃プラスチック類
対象物				○	○

4 最終処分のための建設副産物の搬出(対象 無)

5 建設汚泥の自工事現場内における再生利用(対象 無)

6 建設汚泥の中間処理方法等(対象 無)

7 建設汚泥処理土の利用(対象 無)

8 建設汚泥処理土の搬出(対象 無)

9 剥ぎ取り表土の利用(対象 無)

10 一般廃棄物の搬出(対象 無)

11 根株等の利用(対象 無)

12 根株処理工の出来高の算出(対象 無)

工事用道路

1 工事用道路等の補修(対象 無)

仮設備

1 床掘(対象 無)

2 鋼矢板等の打込引抜工法(対象 無)

3 仮設防護柵工(対象 無)

4 仮締切り(土留)(対象 無)

5 鋼矢板二重締切(対象 無)

6 水替施設(対象 無)

7 異常出水の処置(対象 無)

現場説明書(令和7年10月1日以降適用)

工事名: R8企総管 吉野川北岸工業用水道 泥土池ポンプ制御盤取替工事

そ の 他

1 図面の電子納品(対象 無)

2 標準断面図板設置の省略(対象 有)

本工事は、標準断面図板の設置を省略する。

※(対象 無)の場合は、標準断面図板の設置が必要である。

3 しゅん工標設置の省略(対象 有)

本工事は、しゅん工標の設置を省略する。

※(対象 無)の場合は、しゅん工標の設置が必要である。

4 施工計画書(対象 無)

※受注者は、当該項目の対象の有無に関わらず、低入札価格調査制度の低入札価格調査基準価格を下まわって落札した工事(低入札工事)においては、施工計画書を監督員に提出しなければならない。

5 同一の場所において施工する工事同士の現場代理人の兼務(対象 無)

※現場代理人の兼務については、同一の場所において施工する工事同士の兼務のほか、仕様書に記載された要件を全て満たす場合についても兼務を認めている。

6 三者会議※(対象 無)

ただし、主任技術者の専任が必要な工事で、主任技術者が2つの工事を兼務(兼務届を提出する場合)し、かつ次の①～④のいずれかに該当する工事は、三者会議(三者以上の会議を含む)を実施する。

- ①橋梁、トンネル、樋門等の重要構造物工事を含む工事
- ②現場条件が特殊である工事
- ③施工に要する技術が新規又は高度である工事
- ④その他、設計時の設計意図を詳細に伝達する必要がある工事

三者会議の開催は、工事着手前に実施し、施工条件の変更等の問題が生じた場合には必要に応じ、監督員と協議を行って、複数回開催することができる。

※「三者会議」とは、発注者と受注者と設計者の三者が一堂に会することにより、設計者の意図や施工上の留意点を受注者に的確に伝え、設計図書と現場との整合性を確認協議することにより、工事施行の円滑化と品質の確保を図ることを目的とし実施する。

なお、基礎杭や大規模仮設等専門性の高い工種を伴う工事では、施工者に専門工事業者(下請)の主任技術者を加え会議を実施する。

また、地質構造の複雑な箇所、地形の変化が大きい箇所等、特に地質情報の不確実性が高い現場における工事や地質技術者が参画することで当該工事の品質確保が図られると認められる工事では、地質技術者を参加させ会議を実施する。

7 コンクリートの単位水量の測定(対象 無)

8 セメント・モルタル吹付(対象 無)

9 水抜孔(対象 無)

10 種子吹付(対象 無)

11 植栽樹木の植え替え義務(対象 無)

12 使用材料の品質、規格、性能等(対象 無)

13 LED道路・トンネル照明灯の品質、規格、性能等(対象 無)

14 使用材料の品質規格等(製品名表示)(対象 無)

15 県産木材の使用(県産木製型枠以外)(対象 無)

現場説明書(令和7年10月1日以降適用)

工事名: R8企総管 吉野川北岸工業用水道 泥土池ポンプ制御盤取替工事

16 新技術の活用について(対象 無)

17 アスファルト舗装工事(施工途中の交通開放)(対象 無)

18 橋梁修繕工事(伸縮装置取替)(対象 無)

19 各種様式

各種様式については、下記徳島県ホームページよりダウンロードすること。

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/7220049/>

既設機器仕様一覧

泥土池ポンプ制御盤

区分		内容
(1) 構造	ア 構造	(ア) 形式 鋼板製屋内閉鎖自立型 防塵防湿 (イ) 寸法 a 本体 700(W)×1900(H)×400(D)mm b チャンネルベース 700(W)× 50(H)×360(D)mm (ウ) 色彩 5Y7/1 半ツヤ (エ) 板厚 a 本体 2.3mm b 扉 2.3mm c 中板 2.3mm
(2) 機器仕様	ア 処理機能	泥土ポンプの操作場所の切替えや、運転モードの選択、機器の操作、動作状態の監視を行う。制御内容は下記の通りとする。 (ア) 泥土ポンプ操作場所の切替え [遠方・直接] a 遠方：制御所からの運転信号にて操作 b 直接：泥土池ポンプ制御盤盤面の操作器にて操作 (イ) 泥土ポンプの運転モードの切替え [保守・常用] a 保守：電動弁及び泥土ポンプの単独動作 b 常用：電動弁及び泥土ポンプの連動動作
	イ 取付機器	(ア) 盤面器具 a 名称銘板 28個 b 集合表示灯 (LED 乳白 200V-220V) 7個 c 集合表示灯 (LED 橙 200V-220V) 6個 d 集合表示灯 (LED 赤 200V-220V) 4個 e 集合表示灯 (LED 緑 200V-220V) 4個 f 十字金具 10台 g カムスイッチ (黒) 1台 h 交流電圧計 (1.5級 AC0～300V 赤指針付) 1台 i 交流電流計 (1.5級 0-30/5-90A 赤指針付) 2台 j 交流電流計 (1.5級 0- 3/1- 9A 赤指針付) 2台 k 積算時間計 (0～9999.9H リセット付 AC200V 50/60Hz共用) 2台 l 縦型指示計 (目盛：0～6m 入力：4～20mADC) 1台 m 押釦 (1a 黒) 7個 n 押釦 (1b 赤) 4個 o 押釦 (1a 黄) 1個 (イ) 盤内器具 a 漏電遮断器 (3p 100AF/75AT 30mA) 1台 b 配線用遮断器 (3p 50AF/50AT) 3台 c 配線用遮断器 (3p 30AF/ 5AT) 2台 d 配線用遮断器 (2p 30AF/10AT) 2台 e 配線用遮断器 (2p 30AF/15AT) 3台 f 電磁接触器 (AC200V 2a2b 18～26A 5.5kW) 2台 g 可逆式電磁開閉器 (AC200V 1a1b 0.95～1.45A 0.2kW) 2台 h 計器用変流器 (30A/5A) 2台 i 計器用変流器 (3A/1A) 2台 j 操作トランス (200V220V/100V110V 3kVA) 1台

区分		内容	
		k パワーリレー (AC200V ソケットPYF14A) 14個 l パワーリレー (AC200V ソケットPYF08A) 19個 m セレクトスイッチ (1a1b 黒) 2個 n 端子台 (600V 100A 3P) 1台 o 端子台 (600V 60A 3P) 1台 p 端子台 (600V 30A 6P) 1台 q 端子台 (600V 15A 8P) 1台 r 端子台 (600V 15A 40P) 1台 s 端子台 (600V 15A 45P) 1台 t リミットスイッチ (1C) 1個 u 蛍光灯 (AC100V 10W) 1本 v コンセント (2P 15A) 1個 w スペースヒータ (AC200V 100W 端子保護カバー付) 1台 x ヒューズホルダー (250V 10A 1Aヒューズ付) 1台 y マルチタイマー (AC200V ソケット付) 2台 z サーモスタット (AC200V 0～50℃ ソケットPTF14A) 1台 a a 電源用避雷器 1台 a b 信号用避雷器 1台 a c 伝送器用電源 (AC100V/DC24V) 1台 a d 警報設定器 (AC100V) 1台	
	ウ 表示内容	(ア) 表示灯 a 遠方 1個 b 直接 1個 c 水位高 1個 d 水位低 1個 e No.1ポンプ故障 1個 f No.1電動弁故障 1個 g No.2ポンプ故障 1個 h No.2電動弁故障 1個 i No.1ポンプ運転 1個 j No.1ポンプ停止 1個 k No.2ポンプ運転 1個 l No.2ポンプ停止 1個 m No.1電動弁全開 1個 n No.1電動弁全閉 1個 o No.2電動弁全開 1個 p No.2電動弁全閉 1個 q 予備 5個 (イ) 名称銘板 a 泥土池ポンプ制御盤 1個 b 電源電圧 1個 c No.1ポンプ電流 1個 d No.1電動弁電流 1個 e No.2ポンプ電流 1個 f No.2電動弁電流 1個 g No.1ポンプ運転時間 1個 h No.2ポンプ運転時間 1個 i 泥土池水位 1個	

区分		内容	
		j No. 1ポンプ	1個
		k No. 1電動弁	1個
		l No. 2ポンプ	1個
		m No. 2電動弁	1個
		n 運転	2個
		o 停止	2個
		p 開	2個
		q 停	2個
		r 閉	2個
		s 故障復帰	1個
		t ランプテスト	1個
		u 直接一遠方	1個
		v 保守 常用	2個

新設機器仕様一覧

泥土池ポンプ制御盤

区分		内容
(1) 構造	ア 構造	(ア) 形式 鋼板製屋内閉鎖自立型 防塵防湿 (イ) 寸法 a 本体 700 (W) × 1900 (H) × 400 (D) mm程度※ ※ チャンネルベース含む (ウ) 色彩 5Y7/1 半ツヤ (エ) 板厚 a 本体 2.3mm以上 b 扉 2.3mm以上 c 中板 2.3mm以上
(2) 機器仕様	ア 処理機能	泥土ポンプの操作場所の切替えや、運転モードの選択、機器の操作、動作状態の監視を行う。制御内容は下記の通りとする。 (ア) 泥土ポンプ操作場所の切替え [遠方・直接] a 遠方：制御所からの運転信号にて操作 b 直接：泥土池ポンプ制御盤盤面の操作器にて操作 (イ) 泥土ポンプの運転モードの切替え [保守・常用] a 保守：電動弁及び泥土ポンプの単独動作 b 常用：電動弁及び泥土ポンプの連動動作
	イ 取付機器	(ア) 盤面器具 a 名称銘板 1式 b 集合表示灯 1式 c 十字金具 1式 d カムスイッチ 1式 e 交流電圧計 1式 f 交流電流計 1式 g 積算時間計 1式 h 縦型指示計 1式 i 押釦 1式 j その他必要なもの 1式 (イ) 盤内器具 a 遮断器 1式 b 電磁接触器 1式 c 可逆式電磁開閉器 1式 d 計器用変流器 1式 e 操作トランス 1式 f パワーリレー 1式 g ソケット 1式 h セレクトスイッチ 1式 i 端子台 1式 j リミットスイッチ 1式 k 盤内照明 1式 l コンセント 1式 m スペースヒータ 1式 n ヒューズホルダー 1式 o ヒューズ 1式

区分		内容		
		p マルチタイマー	1式	
		q サーモスタット	1式	
		r 電源用避雷器	1式	
		s 信号用避雷器	1式	
		t 伝送器用電源	1式	
		u 警報設定器	1式	
		v その他必要なもの	1式	
	ウ 表示内容	(ア) 表示灯		
		a 遠方		1個
		b 直接		1個
		c 水位高		1個
		d 水位低		1個
		e No.1ポンプ故障		1個
		f No.1電動弁故障		1個
		g No.2ポンプ故障		1個
		h No.2電動弁故障		1個
		i No.1ポンプ運転		1個
j No.1ポンプ停止			1個	
k No.2ポンプ運転			1個	
l No.2ポンプ停止			1個	
m No.1電動弁全開			1個	
n No.1電動弁全閉			1個	
o No.2電動弁全開			1個	
p No.2電動弁全閉			1個	
q 予備			5個	
r その他必要なもの			1式	
(イ) 名称銘板				
a 泥土池ポンプ制御盤			1個	
b 電源電圧			1個	
c No.1ポンプ電流			1個	
d No.1電動弁電流			1個	
e No.2ポンプ電流			1個	
f No.2電動弁電流			1個	
g No.1ポンプ運転時間			1個	
h No.2ポンプ運転時間			1個	
i 泥土池水位			1個	
j No.1ポンプ			1個	
k No.1電動弁			1個	
l No.2ポンプ			1個	
m No.2電動弁			1個	
n 運転			2個	
o 停止			2個	
p 開			2個	
q 停			2個	
r 閉			2個	
s 故障復帰			1個	
t ランプテスト			1個	
u 直接－遠方			1個	

区分		内容	
		v 保守 常用	2個
		w その他必要なもの	1式